

## 平成20年食中毒発生状況の概要について

平成21年6月  
厚生労働省食品安全部

## 1. 発生状況（事件数、患者数、死者数）

平成20年に国内で発生した食中毒事件数は1,369件（対前年+80件）、患者数24,303人（対前年-9,174人）、死者数4人（対前年-3人）であった。

また、患者500人以上の食中毒は1件発生した（前年は5件）。

## 2. 月別発生状況

食中毒事件の発生が最も多かった月は、10月の157件（11.5%）で、次いで8月の149件（10.9%）、9月の143件（10.4%）の順であり、8～10月に事件が集中しており、この3ヶ月の事件数は449件と年間発生件数の32.8%を占めていた。患者数では、1月が3,871人（15.9%）と最も多く、冬季に患者の発生が集中した。

## 3. 病因物質別発生状況

- 病因物質の判明したものは、事件数1,278件（93.3%）、患者数23,014人（94.7%）であった。病因物質別の事件数は、カンピロバクター・ジェジュニ／コリ（509件）、ノロウイルス（303件）、サルモネラ属菌（99件）、植物性自然毒（91件）の順で多かった。病因物質別の患者数は、ノロウイルス（11,618人）、カンピロバクター・ジェジュニ／コリ（3,071人）、サルモネラ属菌（2,551人）、ウェルシュ菌（2,088人）の順で多かった。
- 腸管出血性大腸菌による食中毒は、事件数17件、患者数115名で、いずれも血清型O157によるものであった。
- 死者が発生した食中毒事件の病因物質は、セレウス菌（死者1名）、動物性自然毒（ふぐ毒、死者3人）であった。
- 病因物質別発生状況の年次別推移では、腸炎ビブリオ及びサルモネラ属菌は、事件数、患者数ともに、平成10、11年をピークとして減少傾向にある。近年、カンピロバクターによる食中毒が増加傾向にあり、食中毒では最も多く発生している。
- また、平成9年に病因物質としてノロウイルス（当初は小型球形ウイルス）を追加して以降、ノロウイルスを原因とする食中毒事件が事件数、患者数ともに増加傾向にあり、平成20年は、前年と比べて事件数、患者数ともに減少したものの、引き続き多く発生している。

## 4. 原因食品・施設別発生状況

- 原因食品の判明したものは、事件数980件（71.6%）、患者数21,763人（89.5%）であっ

た。

- 原因食品別の事件数は、魚介類（106件）、複合調理食品（103件）、肉類及びその加工品（96件）、野菜及びその加工品（87件）、の順で多かった。（「その他」を除く。）
- 原因食品別の患者数は、複合調理食品（3,646人）、肉類及びその加工品（1,410人）、魚介類（925人）、菓子類（726人）の順で多かった。（「その他」を除く。）
- 原因施設の判明したものは、事件数1,041件（76.0%）、患者数23,508人（96.7%）であった。
- 原因施設別の事件数は、飲食店（634件）、家庭（151件）、旅館（78件）の順で多かった。
- 原因施設別の患者数は、飲食店（12,034人）、仕出屋（4,615人）、旅館（2,844人）の順で多かった。
- 死者が発生した食中毒事件の原因施設は、家庭（死者3人）及び販売店（死者1人）であった。

## 5. その他

平成20年食中毒発生状況の詳細等については、厚生労働省食品安全部ホームページ「食中毒に関する情報」（<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/index.html>）で公開している。

表1 年次別食中毒発生状況

年次	事件数	患者数	死者数
56	1,108	30,027	13
元年	927	36,479	10
6	830	35,735	2
7	699	26,325	5
8	1,217	46,327	15
9	1,960	39,989	8
10	3,010	46,179	9
11	2,697	35,214	7
12	2,247	43,307	4
13	1,928	25,862	4
14	1,850	27,629	18
15	1,585	29,355	6
16	1,666	28,175	5
17	1,545	27,019	7
18	1,491	39,026	6
19	1,289	33,477	7
20	1,369	24,303	4

年次	病因物質	事件数	患者数	死者数
15	サルモネラ属菌	350	6,517	0
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	491	2,642	0
	腸炎ビブリオ	108	1,342	0
	小型球形ウイルス	278	10,603	0
	その他・不明	358	8,251	6
16	サルモネラ属菌	225	3,788	2
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	558	2,485	0
	腸炎ビブリオ	205	2,773	0
	ノロウイルス	277	12,537	0
	その他・不明	401	6,592	3
17	サルモネラ属菌	144	3,700	1
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	645	3,439	0
	腸炎ビブリオ	113	2,301	0
	ノロウイルス	274	8,727	0
	その他・不明	369	8,852	6
18	サルモネラ属菌	124	2,053	1
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	416	2,297	0
	腸炎ビブリオ	71	1,236	0
	ノロウイルス	499	27,616	0
	その他・不明	381	5,824	5
19	サルモネラ属菌	126	3,603	0
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	416	2,396	0
	腸炎ビブリオ	42	1,278	0
	ノロウイルス	344	18,520	0
	その他・不明	361	7,680	7
20	サルモネラ属菌	99	2,551	0
	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	509	3,071	0
	腸炎ビブリオ	17	168	0
	ノロウイルス	303	11,618	0
	その他・不明	441	6,895	4

**表2 平成20年 死者が発生した食中毒事例**

NO.	原因施設 都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品名	原因食品種別	病因物質種別	患者総数	死者総数	摂食者総数	性別、年齢
1	茨城県	2008/1/11	販売店	フグ鍋(シヨウサイフグ)	魚介類-ふぐ	自然毒-動物 性自然毒	1	1	2	女、40～49歳
2	兵庫県	2008/5/27	家庭	フグ(魚種不明)	魚介類-ふぐ	自然毒-植物 性自然毒	1	1	1	男、50～59歳
3	長崎県	2008/10/14	家庭	フグ(コモンフグ)	魚介類-ふぐ	自然毒-植物 性自然毒	1	1	1	男、60～69歳
4	大阪府	2008/10/27	家庭	その他(家庭での昼食調理品)	その他-食事特定	細菌-セレウ ス菌	3	1	3	男、1～4歳



# 食中毒発生時の行政対応について

